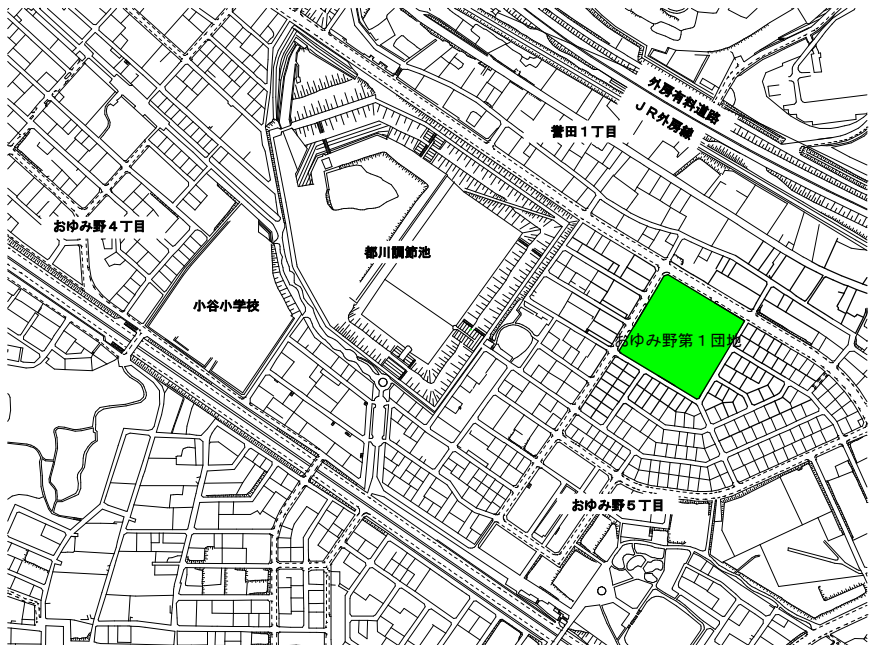


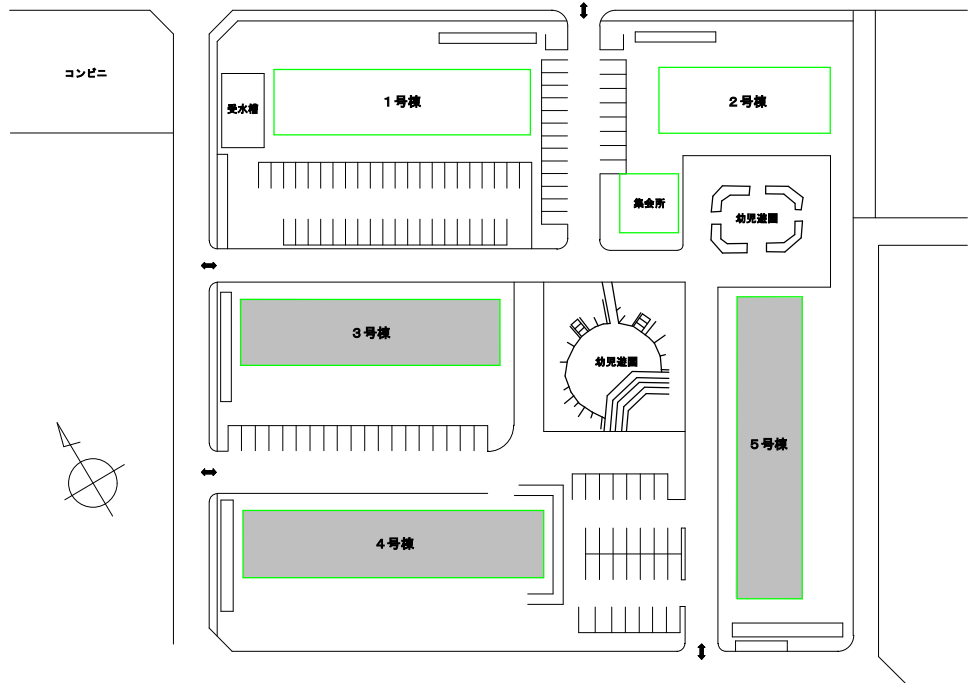
工事概要書

工 事 名 称 千葉市営住宅おゆみ野第1団地3～5号棟屋上防水改修工事
 工 事 場 所 千葉市緑区おゆみ野5丁目28番地
 建 物 概 要 中層耐火構造5階建 3号棟(30戸) 中層耐火構造4階建 4号棟(32戸) 5号棟(32戸)
 工 事 概 要 既存アスファルト防水コンクリート板押えの上にFRP半乾式断熱工法にて改修する。

案 内 図



配 置 図



特記仕様書

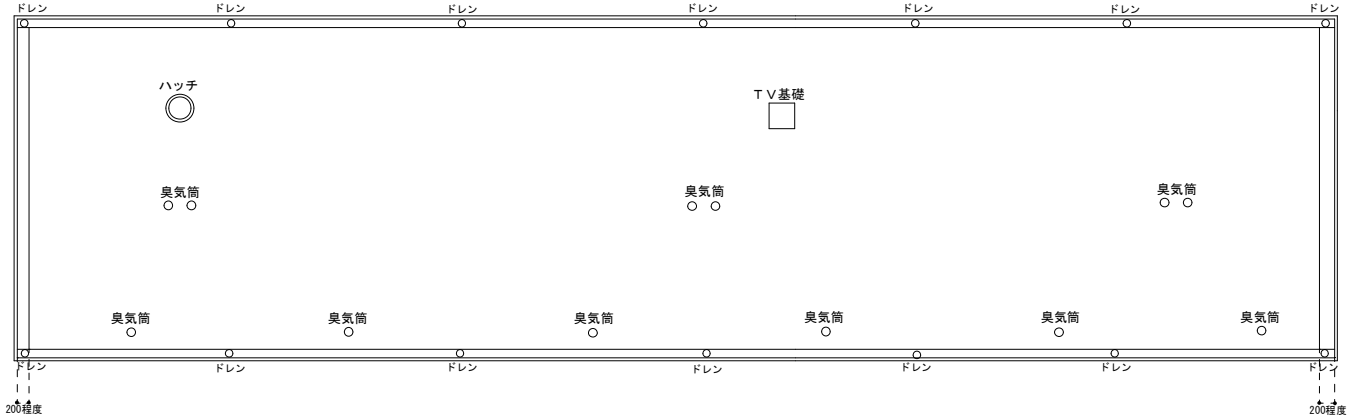
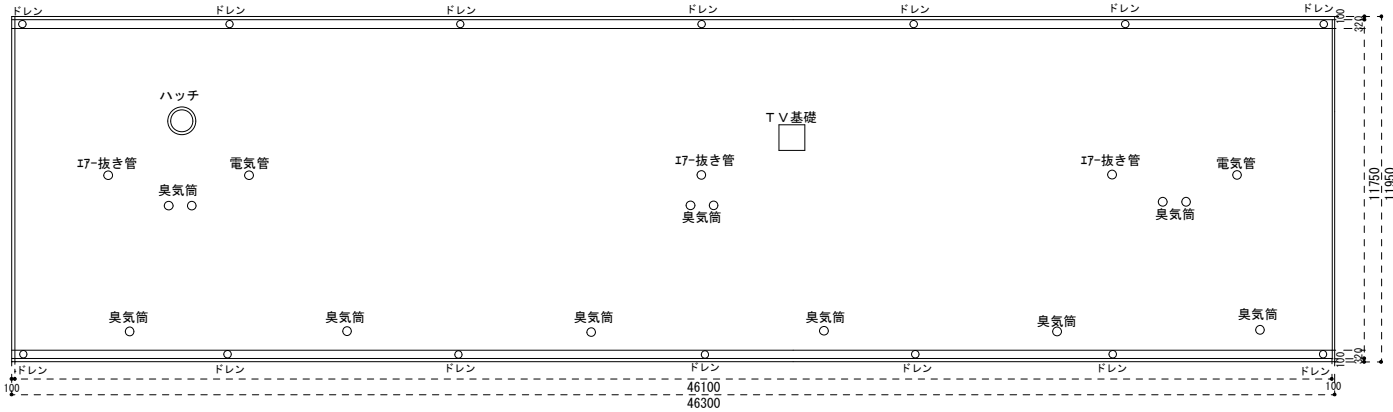
防 水 工 事 防水仕様
 一般平場は、FRP半乾式断熱工法
 (アイバネル工法 又は、同等品とする事。)
 一般平場のジョイント部及び、その他の部位はFRP防水
 (湿式工法)とし、JASS.8 2プライ仕様とする。
 防水施工共通事項 一般平場
 FRP乾式断熱材(断熱材+FRP:35mm以上)
 トップコート(遮熱塗装)
 平場端部(使用材料)
 端部調整用断熱材(35mm以上) 立上り部分 断熱材埋め
 FRPプライマー (0.2kg/m²) FRPプライマー (0.2kg/m²)
 FRPプライマー (0.2kg/m²) 面木(必要に応じて)
 面木(必要に応じて) FRP防水補強材 (ガラス繊維)
 FRP防水補強材 (ガラス繊維) FRPライニング材 (ポリエステル樹脂系)
 FRPライニング材 (ポリエステル樹脂系) FRPライニング材 (ポリエステル樹脂系)
 トップコート(遮熱塗装) トップコート(遮熱塗装)

JASS.8仕様	
※立上り及び天端等	※平場・ジョイント部
プライマー塗布 0.2kg/m ²	プライマー塗布 0.2kg/m ²
ポリエステル樹脂 0.2kg/m ²	ポリエステル樹脂 0.4kg/m ²
ガラスマット#380 張付	ガラスマット#380 張付
ポリエステル樹脂 1.2kg/m ²	ポリエステル樹脂 1.4kg/m ²
ガラスマット#380 張付	ガラスマット#380 張付
ポリエステル樹脂 1.2kg/m ²	ポリエステル樹脂 1.4kg/m ²
ポリエステル樹脂(中塗り) 0.2kg/m ²	ポリエステル樹脂(中塗り) 0.4kg/m ²
トップコート塗布 0.2kg/m ² (遮熱塗料)	トップコート塗布 0.2kg/m ² (遮熱塗料)
合計	合計
ポリエステル樹脂 2.8kg/m ²	ポリエステル樹脂 3.6kg/m ²
ガラスマット #380 2層	ガラスマット #380 2層

※増し貼り部について
 JASS8施工前にクロスを床、立上りにW100以上施工する。
 ガラスクロス#380張付、ポリエステル0.2kg/m²

共通事項		発生材の処理等									
1. 本工事は設計図書及び公共住宅事業者等連絡協議会編集「公共住宅建設工事共通仕様書」（令和4年度版）、国土交通省大臣官房官庁	(3) 基礎工事実施時の地下水汚染及び土壌汚染防止への配慮 (4) 建設副産物の発生抑制及び再利用の推進	1. 請負金額100万円以上の工事について建設資材利用、建設副産物の発生・排出の量の大小及び									
営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（令和7年版）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（令和7年版）に基づき施工完成すること。また、不明な点は監督職員と協議の上施工すること。	7. 安全訓練等の実施 「建築工事安全施工技術指針」及び「公共工事の発注における工事安全対策要綱」に従い、工事の安全確保	有無にかかわらず、コロナ対策により本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を作成し、各1部提出すること。									
2. 本工事にあたり、施工計画書・実施工程表・下請負関係書類・使用資材リスト・施工図等を作成し、監督職員の承認を得ること。	に努めるとともに、工事着手後、原則として作業員全員の参加により月当たり半日以上時間を割当てて、	また、計画の実施状況（実績）については「再生資源利用実施書」「再生資源利用促進実施書」及び「コロナ対策工事登録証明書」を作成し、各1部提出すること。									
3. 本工事にあたり、住民とのトラブルには十分注意すること。また、団地内での車輛の通行・騒音・資材の搬出入等も打合せすること。	安全訓練等を実施し、その実施状況を記録した資料を整備・保管し、監督職員の請求があった場合は、直ちに提示できる体制とすること。										
4. 本工事施工にあたり、騒音・振動及び落下防止等の危険対策並びに安全対策には十分留意すること。 また、本工事に使用する動力及び用水は受注者の負担とする。	8. 工事における創意工夫等実施状況 受注者は工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目又は地域社会への貢献として評価できる項目について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。	2. 建設リサイクル法 受注者は、特定建設資材の分別解体等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の項目を「再資源化等報告書」に記載し、監督職員に報告することとする。 なお、書面に添付する「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」はコロナ対策を用いて作成したものを使用するものとする。									
5. 本工事中に既存建造物等を破壊した場合は、監督職員に報告の上速やかに原型復旧すること。	9. VE提案 本工事は、契約締結後に施工方法等の提案を受け付ける契約後VE工事である。 VE提案については、技術管理課ホームページ「契約後VE方式のページ」による。										
6. 本工事にあたり、関係法規を遵守し、申請手続き等は受注者が代行すること。	10. 施工図等の取扱い 施工図等の著作権に係わる工事的物等に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。										
7. 本工事における廃材は、産業廃棄物として許可を得た業者に適切（中間・最終）に処分させること。（マニフェストB2・D・E票提出）。また、産業廃棄物処理に係る契約書・許可証の写しを提出すること。	11. 現場代理人の取扱い 本工事において、次に掲げる要件のすべてを満たしている場合は、現場代理人を3件まで兼任することができる。 (1) 請負金額が9,000万円未満（建築一式工事以外は、請負金額4,500万円未満）であること。 (2) 低入札価格調査基準価格を下回る価格により落札したものでないこと。 (3) 特定建設工事共同企業体として契約するものでないこと。 (4) 兼任する工事が国又は他の地方公共団体発注工事であって、当該工事の発注者から現場代理人の兼任に関して認められていること。 (5) 兼任する工事の工事箇所が千葉市内に限ること。										
8. 保証書・・・受注者・施工業者・メーカー3社連名にて3部提出のこと。 保証期間については、FRP半乾式断熱工法・・・竣工日より10年間											
仮設工事		補助事業									
1. 昇降足場は、手摺先行足場（W＝900）とし、全面養生シート（防炎メッシュシート）を設けること。 屋上全周にスタンプ手摺及び安全手摺（2段）を設けること。 ※1段目の養生は金網養生とすること。		本工事は国庫補助事業である。									
2. 現場事務所及び便所については空家住戸を貸与する。但し、養生及び現状復旧は受注者の負担とする。											
3. 本工事にあたり、引込み電線等がある場合は受注者にて養生保護管等を行い安全管理対策等に留意すること。 ※特組み足場を設けるにあたり、「手摺先行工法等に関するガイドライン」により、「動きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手摺、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手摺先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の（2）手摺据置方式又は（3）手摺先行専用足場方式により行う。											
一般共通事項											
1. 工事実績情報の登録（工事カルテ作成・登録） 受注者は、工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、契約時及び竣工時（契約変更時）に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し監督職員の確認を受けた上、事象発生後10日以内に適宜登録機関に登録申請しなければならない。 （請負代金消費税込500万円以上の工事）	また、別敷地にて2件以上の工事を併せて発注する場合、一方の工事の請負金額が9,000万円以上（建築一式工事以外は、請負金額4,500万円以上）の場合は、現場代理人とは別に補助技術者（他の工事現場に常駐し連絡や指示等を行う者）を専任する。										
2. 施工体制台帳 施工体制台帳、作業員名簿及び施工体系図の作成等については、千葉市の「下請負の適正化に関する指導指針」に従って行い、写しを監督職員に提出すること。	12. 主任技術者の取扱い 請負金額が9,000万円未満（建築一式工事以外は、請負金額4,500万円未満）である場合は、主任技術者を兼任することができる。 工期・工程に関する事項										
3. 環境への配慮 （1）本工事に使用する建物内部の建築材料は、揮発性有機化合物の放散が極めて少ないものとする。また、ホルムアルデヒド発散建築材料については、F☆☆☆☆使用を原則とし、該当する材料がない場合は安全データシート等の安全性を確認できる資料を提出し、監督職員の承認を得ること。 （2）千葉市グリーン購入推進方針に基づき、環境負荷を低減できる機材の選定に努めること。	1. 週休2日促進工事 本工事は、「千葉市建築工事における週休2日促進工事実施要領」に基づく週休2日促進対象工事である。 完全週休2日（土日）1型 受注者が工事着手前に「完全週休2日（土日）」に取り組む旨を発注者と協議した上で取り組む事ができる。 なお、取り組みを希望しない場合は、月単位の週休2日に取り組むものとする。										
4. 工事関係図書 工事関係図書は、工事中、監督職員から請求があったときは、速やかに提出できるようにするとともに、完成時には、工事関係図書一式を監督職員に提出すること。	2. 工期・工程等 本工事は、猛暑による作業不能日数を以下のとおり見込んでいる。 (1) 作業不能日数：3日間 (2) 上記(1)は、環境省が公表する関東地方 千葉 千葉地点におけるWBGT値（気温・湿度・日射放射を考慮した暑さ指数）過去5年分（2020～2024）について、本工事の工期に対する期間（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日及び夏季休暇（3日）を除く）において、8時から17時の間にWBGT値が31以上になった時間を算定し、日数に換算した5年分を平均化したもの。 (3) 気象条件により工期中に発生した猛暑による作業不能日数（当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する関東地方 千葉 千葉地点におけるWBGT値が31以上になり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、または現場を閉所した時間を算定し、日数に換算したもの（小数点以下第一位を四捨五入する））が(1)の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更協議することができる。										
5. 工事の保険 （1）受注者は工事のすべての物件に対して、工事的物に相当する妥当な金額の火災保険・建設工事保険等に加入し、契約書の写しを監督職員に提出すること。なお、原則として保険加入期間は契約工期と同一とする。 （2）本工事において、受注者は公共工事等に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険契約（法定外の労災保険）に附さなければならない。											
6. 公共工事の実施に伴う環境負荷の低減 千葉市の環境方針に従い、公共工事の実施に伴う環境負荷の低減として取り組む項目は下記のとおりとし、可能な範囲で環境配慮に努めること。 （1）資材・廃土運搬時の環境配慮 （2）工事実施時の騒音・振動の低減への配慮											
	注：気象庁より千葉市に強風注意報（風速13m/s）以上が発令された場合、屋上での作業は一切しないこと。										
千葉市住宅供給公社	工事名	設計年月日	2026年 6月	変更年月日		図面名	特記仕様書2	縮尺	N・S	図面番号	6-2
	千葉市営住宅おゆみ野第1団地3～5号棟屋上防水改修工事	特記事項	共通図面	特記事項							

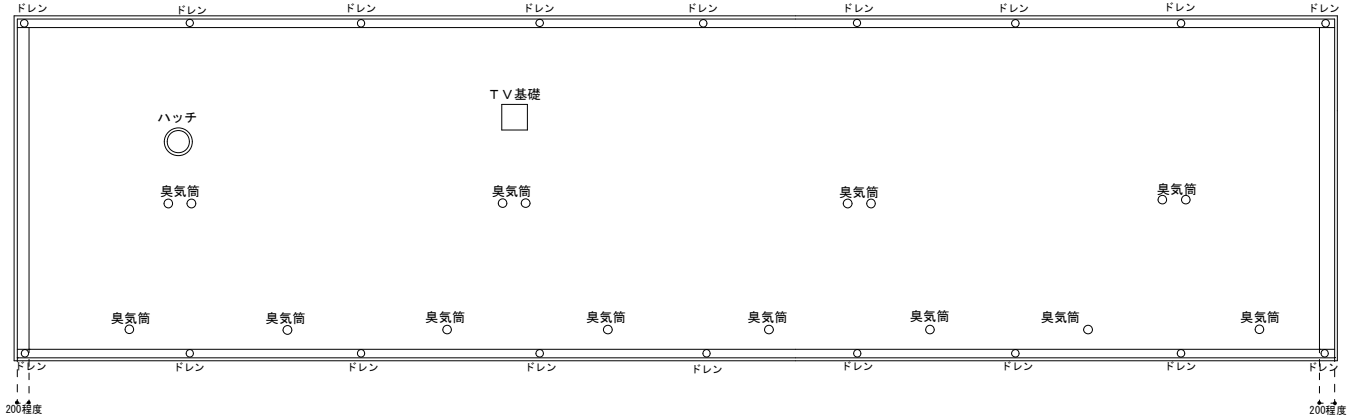
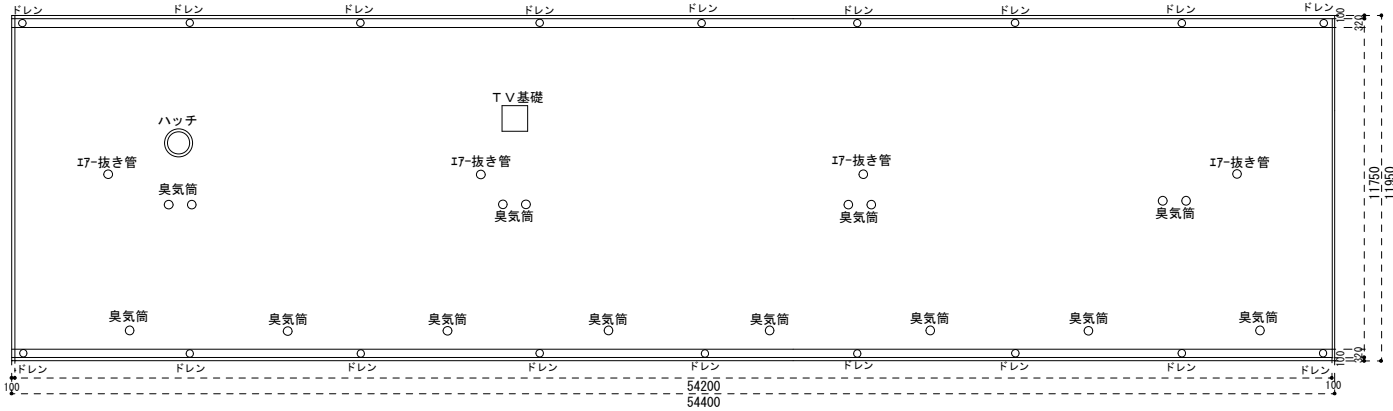
改修前



改修後

平場	FRP防水 トップコート塗り(遮熱塗料)	507	m ²
側溝		33.9	m
ハッチ立上り・天端		18.5	m ²
ハッチ立上り・天端・下部立上り		1.1	m ²
ドレン廻り	モルタル補修	14	か所
側溝破損部		6	か所
側溝	ポリマーセメントモルタル塗り	33.9	m
ハッチ立上り・天端		18.5	m ²
ハッチ立上り・天端		0.8	m ²
ハッチ下部立上りホート張り	防水層付ボード(25mm)	0.3	m ²
ハッチ立上りホート埋め	ホリスチレンホート	1	式
端部L型押え金物	L-40×70×1.57mm製	117	m
既設ドレン中蓋	撤去	14	か所
既設端部L型押え金物		117	m
既設エア抜き管		3	か所
既設電気管		2	か所
改修用ドレン	新規	14	か所
脱気筒		6	か所
ステンレス製臭気筒		12	か所
ステンレス製丸形点検口蓋		1	か所

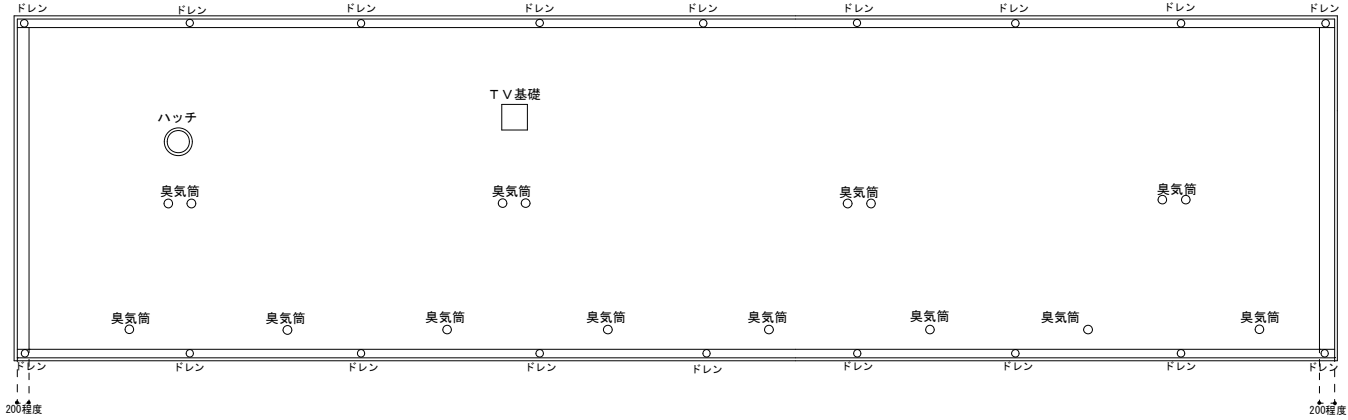
改修前



改修後

平場	FRP防水 トップコート塗り(遮熱塗料)	597	m ²
側溝		39.1	m
ハッチ立上り・天端		21.1	m ²
ハッチ立上り・天端・下部立上り		1.1	m ²
ドレン廻り	モルタル補修	18	か所
側溝破損部		4	か所
側溝	ホリマセメントモルタル塗り	39.1	m
ハッチ立上り・天端		21.1	m ²
ハッチ立上り・天端		0.8	m ²
ハッチ下部立上りホート張り	防水層付ボード(25mm)	0.3	m ²
ハッチ立上りホート埋め	ホリスチレンホート	1	式
端部L型押え金物	L-40×70×1.57mm製	133	m
既設ドレン中蓋	撤去	18	か所
既設端部L型押え金物		133	m
既設エア抜き管		4	か所
改修用ドレン	新規	18	か所
脱気筒		6	か所
ステンレス製臭気筒		16	か所
ステンレス製丸形点検口蓋		1	か所

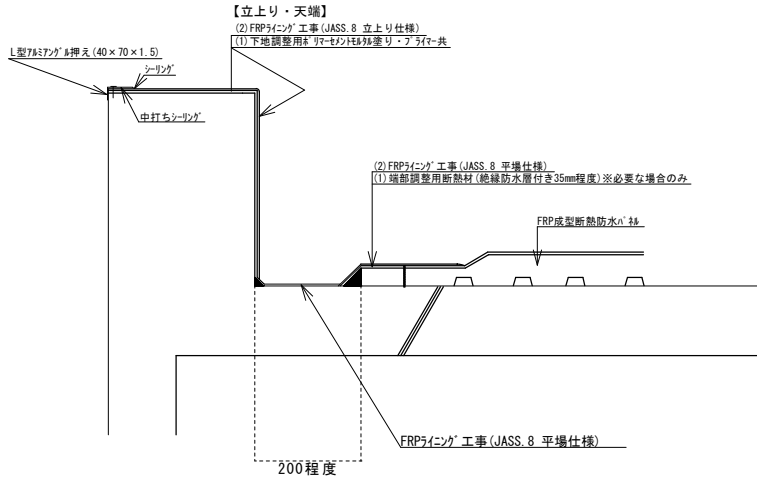
改修前



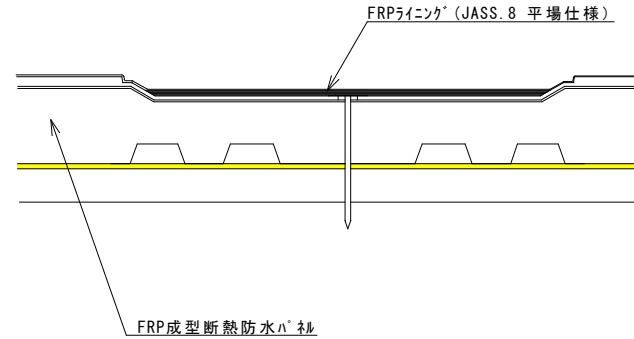
改修後

平場	FRP防水 トップコート塗り(遮熱塗料)	597	m ²
側溝		39.1	m
ハッチ立上り・天端		21.1	m ²
ハッチ立上り・天端・下部立上り		1.1	m ²
ドレン廻り	モルタル補修	18	か所
側溝破損部		3	か所
側溝	ホリマセメントモルタル塗り	39.1	m
ハッチ立上り・天端		21.1	m ²
ハッチ立上り・天端		0.8	m ²
ハッチ下部立上りホート張り	防水層付ボード(25mm)	0.3	m ²
ハッチ立上りホート埋め	ホリスチレンホート	1	式
端部L型押え金物	L-40×70×1.57mm製	133	m
既設ドレン中蓋	撤去	18	か所
既設端部L型押え金物		133	m
既設エア抜き管		4	か所
既設電気管		1	か所
改修用ドレン	新規	18	か所
脱気筒		6	か所
ステンレス製臭気筒		16	か所
ステンレス製丸形点検口蓋		1	か所

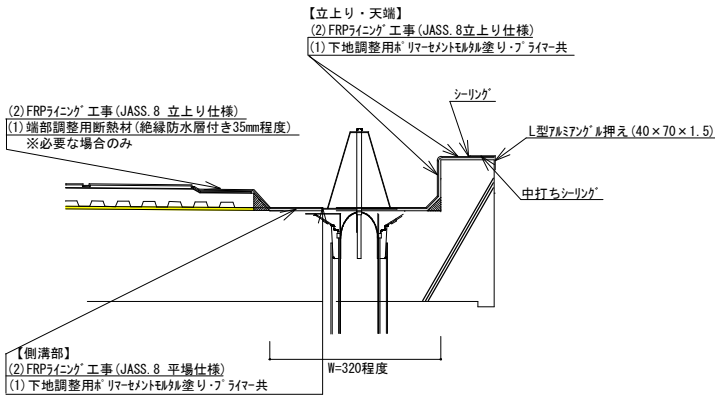
両妻立上り・天端・側溝詳細図



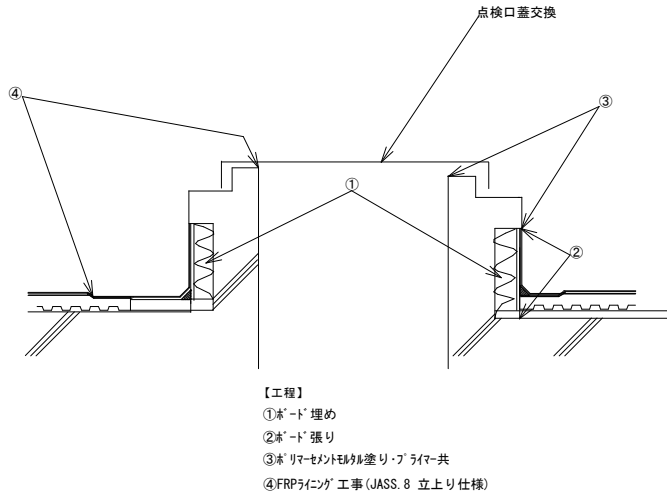
平場・ジョイント詳細図



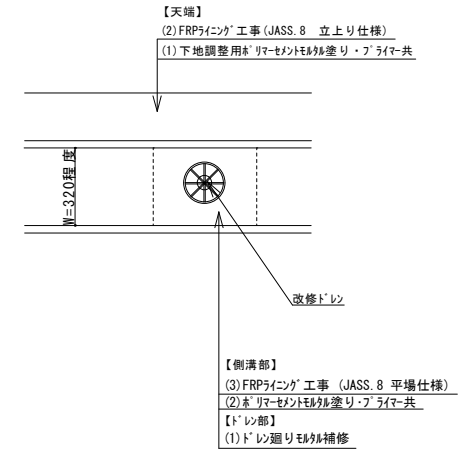
立上り・天端・側溝詳細図



ハッチ詳細図



ドレン廻り詳細図



千葉市住宅供給公社

工事名称
千葉市営住宅おゆみ野第1団地3~5号棟屋上防水改修工事

設計年月日	2026年 6月	変更年月日	
特記事項	共通図面	特記事項	

各部詳細図

縮尺

N・S

図面番号

6-6